

第17回愛媛大学教職員作品展企画 「気軽に俳句を詠んでみよう」

学長賞 特選(10句)

番	句	所属等	氏名／ペンネーム
1	くもの巣に夕立のこす水の精	附属小学校 二年	河合響生
2	あさがおがのぼってそらにてをひろげ	附属小学校 二年	安部紗世
3	かくれんぼ風のぬけ道見つけたよ	附属小学校 三年	西尾凜雅
4	待合室金魚と目が合った母の膝で	附属小学校 四年	宮内唯衣
5	清流に石を投げれば揺れる秋	附属中学校 三年	清水媛香
6	風鈴の音だけ響く祖母の家	附属高等学校 二年	越智ゆうか
7	漕ぎ出すとカモメが並ぶ夏の海	附属高等学校 二年	平岡祐亮
8	田植えする素足をがっちりつかむ泥	教職員(図書館)	橘 紀子
9	被災地の灯り数える虫の闇	教職員(医学部)	満田憲昭
10	境内は日陰の多し猫通る	教職員家族	ふさこ

入選(16句)

1	なつやすみあおぞらひろがるひこうきよ	附属小学校 一年	山下叶翔
2	どどどと体にひびく大花火	附属小学校 一年	柴田菜々子
3	ちびがえるこっちくるのにあっちいく	附属小学校 二年	金丸康資
4	ひとやすみいなほにとまる赤とんぼ	附属小学校 二年	田中宏汰
5	夏の雲車屋さんの腕ひかる	附属小学校 三年	蔵元啓人
6	太陽できれいにそまる秋の海	附属小学校 四年	二宮明日香
7	ふるさとの色をそだてる植田かな	附属小学校 六年	大野 翼
8	さわさわとススキの穂先弦楽奏	附属中学校 三年	秋葉美伶
9	汗が舞う決まれスマッシュデビュー戦	附属中学校 三年	やまさきひさ
10	薫風よ未来へ私連れてゆけ	附属高等学校 一年	板野桃子
11	大空も背伸びしながら秋を待つ	附属高等学校 二年	土居波留加
12	弾けるも悩むも青春ソーダ水	附属高等学校 二年	中原佳名子
13	大切な言葉花火にかき消され	附属高等学校 二年	宮田柚子
14	夏祭り毎年一人で花火見る	附属高等学校 二年	和泉康平
15	青田風遠くに白くサギ見ゆる	教職員(図書館)	相原次美
16	露草の一枝そつと野辺送り	教職員(教育学生支援部)	山内和美